

## 活動報告書

●活動名：開校式・田植え

●活動のめあて（目的、目標）：

- （1）農業体験活動を通して、米作りについて理解を深め、農業の楽しさや苦労や工夫について知ることができる。
- （2）米作りを通して、地域の一員としての自覚を高め、農業従事者との交流を深めることで、豊かな人間関係を養う。
- （3）自然と一体となって活動することによって、自分の住む地域のよさに気づくことができる。

●日時：平成27年5月19日（火） 10：20～11：30

●天気：晴れ

●場所：小学校西側水田（岩崎敬忠さま所有地）

●当日参加者・協力者

参加者内訳	技術指導	人数
県職員等		4名
小学校教諭		6名
児童		48名
地元農家（田んぼ・畑の学校の先生）	○	5名
田んぼ・畑の学校応援団		10名

●当日の活動場所見取り図



●事前準備

前日までの準備	
実施したこと・準備したもの	参考画像
なし	

当日の準備	
実施したこと・準備したもの	参考画像
田んぼの学校旗を掲揚した。	

●準備物一覧

準備物	参考画像
「田んぼの学校」の旗 掲揚ポール ポール支持用単管	

●当日の活動内容

時間	活動内容・作業や指導のコツ等	参考画像
10:20	各学年毎に校舎前で点呼をとり学習田に移動。	
10:30	開校式 ・堀内校長先生あいさつ「全員元気に集合出来た。今日は小満、命が満ちてゆく、旬を体感してもらいたい、季節を感じてもらいたい」 ・指導してくれる農業名人の紹介 岩崎敬忠さん、星嘉男さん、渡辺健治さんの三農家。 ・村松農村整備部長あいさつ「農業体験は大切、米の字の意味するところ、ご飯茶碗の粒数などの蘊蓄披露」	
10:42	5年生作文の発表（朗読） 「田んぼの学校を迎えて」6年生はじめのことば	

10:44	<p>岩崎さんの説明</p> <p>「今日皆さんで植えるのはコシヒカリ、モチ米は他の田で既に準備」</p> <p>全員で田植え作業開始。</p> <p>各学年の持ち分をほぼ均等にしたが上級生から順次終了。</p>	
10:58	<p>さらに当初の予定範囲外にも急遽ガジ棒で線引きして田植え続行。</p> <p>子供達に混ざって父兄・先生も参加したが、子供達に負けないくらい楽しんでいる様子があった。</p> <p>子供達から周囲の大人までみんなの笑顔が輝いていた。</p> <p>全員整列</p>	
11:25	<p>おわりの挨拶（6年生）</p>	
11:27	<p>記念撮影</p>	
11:48	<p>足を洗ってから帰校</p>	
その後	<p>岩崎さん他、補植・調整作業を続けてくれていた。</p>	

●活動の成果・効果

活動の成果	<p>多人数での一斉作業だったので、短時間で作業を進めることができた。事故もなく安全に作業ができた。初めて体験する児童が多かったが、児童一人一人が十分に自然に触れ合うことができ、農家の仕事や稲の生長についての理解が深められた。</p>
児童の感想	<p>素足でどろんこの中に入ったことが楽しかった。田んぼの中は想像していたより「ぬるぬる」していた。一度足を踏み入ると、思ったように動くことができなかった。でも、自分たちでまいた種が大きく成長していて苗になっていたことがうれしかった。「早く成長して、米がいっぱいとれて、その米を食べてみたい。」と思いました。</p>
小学校の感想	<p>農業先生のご協力により、種まきから体験することができたのはよかった。田植えからは地域の方、保護者、学校（教職員と児童）が三位一体となった共同作業ができた。それぞれの学年がひとつの目標に向かって、上級生が中心となって、協力し合いながら積極的に取り組むことができたのが大きな成果である。</p>
地元農家の感想	<p>何より子どもたちの笑顔が見られて大変うれしかった。昨年までは5年生のみの活動だったので、今年度は全学年の子どもたちや母親たちも参加できたので、大人数での作業になり、短時間に終了することができた。田植え未経験とは聞いていたが、上手に田植えする子どもも多かった。</p>